

関西大学 SDGs パートナー登録団体一覧（五十音順）※登録月別

2021年10月末時点

NO.	団体名	SDGs への取組概要	目指すゴール
1	関西 SDGs プラットフォーム 教育分科会 SDGs ナレッジラボ	学生が SDGs について学び、考える機会を提供するとともに、またそのプロセスにおいて学生が市民社会・企業等とパートナーシップを組み、活動を促進する働きかけを行います。そして関西地域全体における SDGs の浸透と達成に寄与することを目的とし、関西 SDGs ユースアクションを開催しています。関西 SDGs ユースアクション参加に向けて、学生が SDGs について学べるワークショップやイベントを開催します。	
2	株式会社 NTTドコモ	食品ロス削減アプリ「ecobuy」の開発を行い、東京都の平成29年度『「持続可能な資源利用」に向けたモデル事業』に採択され、実証実験を実施しています。令和2年11月経済産業省の実証実験にも参加し、今年度9月に正式サービス開始予定です。	
3	株式会社 三和工務店	社屋及び倉庫屋根上の太陽光発電により自家発電に取り組み、現場で使用材料も再生材を積極的に利用し環境に配慮した生産活動を行っています。また社会資本整備事業の実施により、地球にも人にも優しい企業を目指し、SDGs 達成に向け全社員で取り組んでいます。	
4	株式会社 島津製作所	社は「科学技術で社会に貢献する」、経営理念「“人と地球の健康”への願いを実現する」を具現化しながら、創業以来、社会課題の解決を図ってきました。SDGs に対しては、社内リソースを踏まえて貢献できるゴールを定め、製品・技術による貢献と、自社内の事業活動による貢献の両側面から取り組んでいます。	
5	株式会社 HAMONZ	Sports for Social という、スポーツを通して社会貢献活動を応援するメディアを展開しています。アスリートとのタイアップでの企業の社会貢献活動の紹介、NPO や J リーグクラブなどの団体の活動の取材記事、ユーザーからの寄稿による個人の活動などをメディア掲載しています。	

6	株式会社ウィザス	2020年12月化学生命工学部上田教授の協力のもと、関西大学とのSDGs Eventを企画しました。(新型コロナウイルスのため直前で中止)その際のテーマが「14海の豊かさを守ろう」として上田教授のサンゴ再生技術について学ぶ企画を予定していました。今後は、同種のイベントのシリーズ化を検討していきます。	
7	株式会社学研プラス	「誰一人取り残さない」というSDGsの基本理念は、すべての人が心ゆたかに生きる世界の実現を目指す、学研グループの理念と重なります。その企業理念のもとEdTechによる教育サービス、スマート教育、モンテッソーリ教育、グローバル人材の育成、女性活躍推進業事業を展開しています。持続的な塾・学研教室などの教育サービスの提供、リカレント教育、産学連携、女性の社会進出へ向けた取り組みの他、多世代が支え合いながら、地域の中で安心して暮らせる街づくり、『学研版地域包括ケアシステム』の実現などを図っております。	
8	堺市	堺市は、2018年6月、SDGs未来都市に大阪府内の自治体で初めて選定されました。SDGs未来都市として、国際社会の普遍的目標であるSDGsに貢献する視点に立ち、「堺市SDGs未来都市計画」を策定し、SDGs達成に向け取り組んでいます。また、令和3年5月26日に「さかいSDGs推進プラットフォーム」を設立し、会員同士がつながりながらSDGsに取り組み、地域課題の解決に向けた活動を行います。	
9	一般財団法人 日本品質保証機構 マネジメントシステム部門 SDGsプロジェクト	新サービス「JQA-SDGsステップアップメニュー」開始のお知らせ。当機構では、2021年6月より、SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) 達成に向けて取り組まれる組織さまを支援するために、SDGsの導入支援から取組み診断、第三者認証までをトータルサポートする「JQA-SDGsステップアップメニュー」のご提供を開始いたします。 https://www.jqa.jp/service_list/management/topics/topics_ms_327.html	
10	レッドホースコーポレーション株式会社	小中高校生向けに校外学習の教育施設として、プログラミング等のデジタルコンテンツを体験頂いております。また、今年度より海外の日本語学校向けにREDEEの学習コンテンツを無料で学んで頂けるよう活動を行っております。	

11	株式会社ワークアカデミー	<p>私たちは、教育サービスをコア事業とし、これまでSDGs をテーマとした探究学習の教材開発や、教育機関での出張授業、また各種ワークショップやイベント等、持続可能な社会の担い手を育成するための様々な取り組みを実施して参りました。また弊社を設立母体とする一般社団法人にて、中高生、学生を対象とした SDGs をテーマとした探究学習の成果発表の場として、「SDGs 探究 AWARDS」を設立。全国から SDGs 達成に向けた生徒・学生たち自身ができるアクションを表彰するコンテストを企画運営しています。</p>	
12	ジューエルサイエンス株式会社	<p>当社は、有害化学物質や水質検査、大気汚染物質の分析を行うための装置や消耗品を取り扱っており、それらの新規開発・製造・安定供給に取り組み、環境保全に貢献します。また、環境に配慮した資材調達、省エネルギー活動の推進、化学物質管理の徹底など、持続可能な社会の実現に向けて取り組んでいます。</p> <p>近年は製造工程における環境負荷低減についても検討を進めています。</p>	
13	法政大学 SDGs+ (プラス) プロジェクト	<p>SDGs 科目群の設置やティフィケートプログラム実施。 SDGs オンライン人材育成プログラム実施 SDGs 実践知ゼミナール実施</p>	
14	株式会社モリサワ	<p>モリサワは、社会インフラのひとつであるフォントやサービスを通じて、情報やコミュニケーションの質を向上し、お客様の SDGs の取り組みに貢献します。</p> <p>具体的な取り組みとして、SDGs 目標 4「教育」に関連して「伝わる資料づくり」「伝わる情報発信」セミナー、ユニバーサルデザインの考えで作られた「UD フォント」研修会を自治体、学校向けに実施をしております。</p> <p>また、SDGs 目標 17 の「パートナーシップ」にも則り、情報やコミュニケーションの改善の面で協力・協業できるパートナーづくりにも努めています。</p>	
15	キリンビバレッジ株式会社	<p>【3.健康】 「プラズマ乳酸菌」等の健康価値を訴求した商品の開発・販売</p> <p>【12.つくる責任】 FSC 認証紙採用による資源の有効活用</p> <p>【14.海の豊かさ】</p>	

		<p>「R100 ボトル」の導入等による PET ボトル資源循環の推進</p> <p>【15.緑の豊かさ】</p> <p>スリランカ紅茶農園へのレインフォレストアライアンス認証取得支援</p>	
16	<p>一般社団法人 ボランティアプラットフォーム (ぼらぷら)</p>	<p>ぼらぷらは中学生・高校生・大学生・社会人と幅広い方を対象に、SDGsに関連する「オンラインSDGs研修」「オンラインボランティア」「スキルアップ研修」「SDGs小論文コンテスト」「渡航型海外ボランティア」「SDGs導入コンサル」等のサービスを総合的に提供し、SDGsを推進するプラットフォーム型のNGOです。</p>	
17	<p>エネラボ株式会社</p>	<p>当社はエナジーサプライ株式会社、岡山電力株式会社とグループとなります。</p> <p>再生可能エネルギー事業を現在推進しています。</p> <p>CO2の出ない電気の供給を行っています。</p> <p>また、電気代の一部が社会貢献活動に繋がる電気のサービスも実施しています。</p>	
18	<p>クリエイトグループ クリエイト株式会社 ダイドレ株式会社</p>	<p>企業理念「快適な住環境を提供し、豊かな暮らしづくりに貢献する」を実践することにより、社会のサステナビリティ(=持続可能)な発展に貢献しています。ダイドレ社製 Tosk Remake Cover では従来のグレーチングカバーに代わる天然石を特殊樹脂で固めた透水化粧ふたを開発、広めることにより足元から安全・安心な街造りを目指しています。</p> <p>また関西大学×法政大学「SDGsアクションプランコンテスト-持続可能な未来のために私たちができること-」へ協賛しています。</p> <p>その他「安全・安心で、働きがいのある働きやすい健康的な職場づくり」を掲げ各種施策を推進しています。</p>	
19	<p>公益財団法人 太平洋人材交流センター(PREX)</p>	<p>途上国の発展を支える人材育成と、人材育成事業を通じた国際的な人材交流を目的に設立され2020年4月で30周年を迎えたPREXは、誰もが生き生きと暮らすことができる『持続可能な社会』を目指し、10年後にPREXが達成したい世界、目指す姿として「PREXビジョン2030」を策定しました。</p> <p>途上国の行政官や経営者、海外からの留学生や日本企業で働く外国人社員などを対象とする研修事業だけでなく、職員自身の働きがいのある職場づくりを通じた価値を提供し、関係団体と連携しな</p>	

		<p>がら SDGs 達成に貢献します。</p> <p>※PREX 内に 2019 年、SDGs 推進チームを設置</p>	
20	株式会社 Direct Stock Japan	<p>弊社では、国内で古くなり需要の無くなった廃車予定のハイエースを買取し、それを必要としている東アフリカを中心とする発展途上国に輸出しています。途上国では日本から輸入したハイエースが主に乗り合いバスとしてリユースされており、市民のライフラインとして活躍しています。しかし、10 年程前からインターネットの普及に伴って、日本国内の中古車の輸出業者が急増しており、過度の価格競争によって、故障を隠して粗悪車を輸出する業者も増えて来ています。輸出先の人々は当然返品が出来ません。しかも彼らにとって車一台は、人生を左右するほど大きな買い物であり、粗悪車をつかまされる事で、彼らの人生はとてつもなく大きなリスクを負う事になります。</p> <p>弊社では、他の輸出業者とは異なり、仕入れを業者間オークションで行うのではなく、国内のエンドユーザーから行っています。これにより状態の良いハイエースを適正な価格で輸出することが出来るようになり、その結果彼らのビジネスを間接的に支援できていると考えています。</p> <p>しかしながら、これまでバイヤーからの大きなクレームは無いものの、実際に輸出したハイエースが具体的にどのような活躍をしているかを検証したことはありません。今後弊社における SDGs の取り組みをより良いものにするためにも、この検証が今後の課題と言えます。</p>	
21	株式会社 日刊スポーツ新聞 西日本	<p>日刊スポーツ新聞西日本は、「やりがいがある、この会社で働いて良かったと思える会社」を目指しています。また、会社のあるべき姿として「潤いのある生活、豊かな人生に、インターネット、新聞の情報発信を通じて社会に貢献できる会社」でありたいと願っています。それを実現するため、22 年 4 月より、SDGs に取り組む企業を連載していく予定です。</p>	
22	株式会社 日立システムズ 関西支社	<p>これまで日立グループの一員として ICT 技術を活用したソリューションのご提供を通し、社会に貢献してきました。具体例としては、ICT 技術を活用した属人化業務の撤廃、業務標準化による持続可能なシステム環境の実現や、製品製造や在庫などの需要予測を通じた製品廃棄ロスの削減などに</p>	

取り組んできました。

